

やくしまはやさきかいがん こうみやくぐん
11 屋久島早崎海岸の鉍脈群



指 定 令和2年4月28日 鹿児島県指定天然記念物
所在地 屋久島町小瀬田

屋久島早崎海岸の鉍脈群は、約1600万年前のマグマ活動に伴って、生成された鉍床です。その露頭は屋久島の成り立ちを知る上で、学術的価値が高い場所です。鉍物の種類が豊富で、特に日本では3か所しか確認されていない二次鉍物コンネル石が、アタカマ石と一緒に産出する希有な場所であり、貴重な文化財といえます。

早崎の鉍脈は、明治の末に屋久島安房の鹿島伝衛門と、船行の藤山藤五郎によってその露頭を発見され、大正4年に「早崎鉍山」と命名されました。その後、昭和20年に、仁田鉍山株式会社が設立され、安房の屋久島鉍山とともにタングステンの採掘場として経営されていましたが、昭和30年代に業績悪化のため、閉山となりました。当時はここ、早崎鉍山の他にも島内各地で鉍山・鉍床が確認されており、この鉍山同様、採掘が行われている場所もありました。